

ホームページへの掲載	
7月 7日	掲載予定

岐阜県立岐阜高等学校

学 校 長 南谷 清司
学 校 住 所 岐阜市大縄場 3 丁目 1 番地 電話 058-251-1234

- 1 会議の名称 岐阜高等学校学校評議員会 (第 1 回)
- 2 会議の構成
- | | | |
|-------|--------|----------------------------|
| 委 員 | 石田 秀治 | 岐阜大学応用生物科学部 教授 |
| | 江口 裕國 | 丹羽歯科医院 医院長 (本校校医) |
| | 杉山 文康 | 杉山建設株式会社 代表取締役社長 |
| | 杉山 万里子 | 地域住民代表 |
| | 西山 光知子 | 元 P T A 副会長 薬剤師 (委員名は五十音順) |
| 学 校 側 | 南谷 清司 | 校長 |
| | 早川 徹 | P T A 会長 |
| | 山本 淳一 | 事務部長 |
| | 伊藤 崇 | 教頭 |
| | 西谷 徹 | 教頭 |
| | 高木 雅紀 | 教務主任 |
| | 市川 浩通 | 進路指導主事 |
| | 久保田信孝 | 生徒指導主事 |
- 3 会議の目的 「将来の日本や世界の様々な分野でリーダーとして活躍する人材の育成」等の観点から、岐阜高校の教育活動の在り方について、地域住民や保護者及び有識者などから幅広く意見を聞き、地域社会からの支援・協力を得て、開かれた特色ある学校づくりを推進する。
- 4 会議の開催 平成 2 9 年 6 月 2 7 日 (火) 13:30~15:30 岐阜高等学校 大会議室
委員 5 人と学校側 8 人が出席
- 5 会議の概要
- (1) 学校評議員の委嘱と学校長挨拶
本校は、「科学の甲子園」や各種の部活動において生徒が活躍している。また、進学面でも 2 年連続で東京大学の推薦入試に合格するなど、文武両道を目指して日々努力している。さらには平成 3 0 年度から個別のより高度な学習ニーズ」に応える仕組みについて検討中である。開かれた特色ある学校づくりを推進する本会に置いて、評議員の方々から岐阜高校について、ご意見をいただきたい。
- (2) 授業見学
1 年 6 組 英語表現 I A L T とのチームティーチング (分割少人数授業)
2 年 2 組 現代文 (通常授業)
2 年 7 組 数学 II B (分割少人数授業)
3 年 5, 6 組 地理 / 日本史 / 世界史 (選択授業)
- (3) 岐阜高校の現状と今年度の取組について
ア 本校の教育方針と教育活動 (教頭より)
本校は県内でも様々な分野でのリーダー養成の役割を担っている学校である。自主性、創造性などの養成だけでなく、豊かな人間性の育成が重要だと考えている。個々の進路実現ももちろん重要な目標だが、その先の「社会に役に立つ人材」の育成を目指したい。教科の知識のみならず、社会に目を向けて課題を見つけ、それに挑戦していく姿勢を身につけさせたい。昨年度の自己評価、学校関係者評価を受け、各分掌で改善方策案やマニフェストを策定し、鋭意改善に取り組んでいる。

イ 「特色ある教育の推進」について（教務部より）

確かな学力の身につけさせるために「65分授業」を実施するとともに、主体的な学習態度を育成するために、補習授業や課題講座、1年時の初期指導など、様々な支援を行っている。同時に文武両道を掲げる本校は、多くの生徒が部活動への加入し（89.3%）、生徒は毎日積極的に活動している。今年度から、新設のキャリア形成支援部が中心となって、「グローバルリーダー養成事業」や「総合的な学習の時間」等のより効果的な運営方法についても検討を重ねている。さらに、国家及び社会の形成者として必要な政治や選挙への関心を高めるために主権者教育の充実に力を入れている。

ウ 進路指導について（進路指導部より）

将来を見通し自分の人生を見つめて、主体的な考え方や学習態度の育成を目指している。ここ2～3年、合格実績は上向き傾向にある（理系約40%、文系約50%）。「学問・職業体験プログラム」等で、生徒のやる気に火をつけ、その意欲を確かな学力につなげるために様々な手立てを講じて支援している。

エ 生徒指導について（生徒指導部より）

生徒が安全で安心な環境で学校生活が送れるように取り組んでいる。交通事故件数はやや減少しているが、1年生の事故件数が多くなっており、学年会と連携して交通安全指導に努めている。また、トラブルに巻き込まれない「スキのない身だしなみ」を目指して指導している。さらには、不審者情報の共有し、注意喚起に努めている。

オ グローバルリーダー養成事業について（教頭より）

昨年度までの学校活性化委員会を引き継いで、今年度からキャリア形成支援部が中心となって5つのプログラムを展開している。「生徒の心に火をつける」を合い言葉に、将来、社会に貢献できる人材「トータル・パーソン」を育成するために、長いスパンで考えて向学心を喚起する事業を進めている。

カ 生徒会・部活動について（教頭より）

水泳部やソフトテニス部など東海大会に出場する体育系の部活動がいくつかあり健闘している。文科系では自然科学部や囲碁将棋部などは、今夏の全国総合文化祭に参加する予定である。また、ESS部は長良川鶺鴒の通訳ボランティアなど「地域を知り、世界で活躍する」人間になれるよう活動している。

キ 岐阜高生の活躍（報道記事より）

科学の甲子園で全国優勝した生徒の記事や自然科学部生物班がカスミサンショウウオの保護活動が表彰された記事、ESS部の英語鶺鴒ガイドボランティアの記事など、岐阜高校の生徒の活躍を紹介。

テーマ1 授業見学の感想、学校への提言、意見交換等

意見1 先生が熱意にあふれる授業を行い、生徒は集中して取り組んでいる姿はとても良い授業だと感じた。才能に恵まれた生徒が多いと思うので、キャリア教育によってそれぞれが適した分野で社会に貢献できる人材に育てほしい。

意見2 自分は数学が得意だったが、授業を見て非常に難しいことを学習していると思った。自分たちの頃は、先生が上から目線で授業を行っていたが、今日の授業は対話を重視しながら丁寧に授業をしていて素晴らしいと思った。今の時代、塾に行っている生徒が多いと思うが、塾は補足的なものであるべきで、学校の授業こそが重要であるのが本来の姿だと思う。

意見3 先生が生徒の注意を逸らさず熱心に授業をされていた。生徒も一人も気をそらすことなく真面目に取り組んでいた姿は印象的であった。

意見4 受験校というレベルを保ちながら、「トータル・パーソン」の育成に向けた様々な事業が行なわれているが、生徒それぞれがやりたいことに向けて、いろいろな挑戦をするとのこと。これからも続けてほしい。

意見5 以前の学校群制度への移行時期には、生徒の学力レベルの差に先生だけでなく生徒も戸惑っていた記憶がある。単位制高校になるとのこと、個人の能力とやる気に応じて教育は与えられるべきだと思っている。理想を述べるのは容易いが、行なうのは難しいと思うが、ぜひとも実現してほしい。

意見6 先生方が子供の可能性を伸ばすために、忙しい中、いろいろな機会や環境を与えていただいていることがひしひしと伝わってきた。科学の甲子園で優勝を争った私立の進学校とは違って、文武両道の公立校の中で伸び伸び育っている生徒は、これからきっと社会の役に立っていくと思う。これからも、勉強だけでなく人間として必要な学びの機会を与えてほしい。

意見7 子どもが学校に通っているころは授業を見る機会はなかったが、少人数授業や対話重視の授業を見て、丁寧に授業が行なわれていると感じた。ただ、教室を見て感じたのは、身だしなみや身のまわりの整理整頓はややだらしないところが気になった。

意見8 グローバルリーダー養成事業に関わって、さまざまな学びの機会が用意されているが、希望者だけでの参加ではなく、全員がどれかに参加できるような準備がされていると良いと思う。

→ グローバルリーダー養成事業への参加については昨年の本会の課題でもあった。現在、キャリア形成支援部で年間計画等の見直しを行なっているが、テーマや講演いただく講師の方の都合などを考慮すると、1年間の中で生徒個々のニーズに対して、全員が参加できるようにすることは難しい。しかし、3年間を見通して、生徒の趣味趣向、進路目標に応じていずれかに参加することができるように見直していきたい。

→ 部活動を一生懸命やっている生徒はなかなか参加することが難しいかもしれないが、授業時間内に実施するものもある。来年度、より多くの生徒が、さまざまな参加機会を得られるように検討中である。

意見9 岐阜高校のホームページが新しくなっていて、今何が行なわれているかが、大変わかりやすくなっていた。大変だと思うが新鮮な情報をこれからもどんどん掲載してください。

→ 以前からご指摘いただいていたためホームページを刷新した。また常に新しい情報を載せるように努めている。

意見10 岐阜高校はSGH（スーパー・グローバル・ハイスクール）の事業とは違うのか？

→ SGHは英語をベースとして海外に目を向ける取り組みである。SGHについては、今後指定校を増やさない方向とのこと。他にも文科省指定の事業としてSSHなどがあるが、岐阜高校としては、そのような型にはまったものではなく、岐阜高校独自で、それぞれの良い部分を取り入れたバランスの取れた活動を目指している。今後は、高校で何を学んだかをまとめ上げて何らかの形にするための制度を検討している。

意見11 国際交流体験プログラムなど、各事業に自発的に手を挙げて生徒は参加するのか。実社会でも自らチャンスをもたなければ生き残れない現状にある。

→ どんどん手を挙げて参加する生徒もいれば、じっと様子を眺めて待っている生徒もおり、意欲はあるが自ら手を挙げるができない生徒をいかに刺激して、自らチャレンジするようにさせるのが課題。また効果のある事業を、いかに効率よく展開するかも課題である。

意見12 来年度から全県一区になるとのこと。通学できない生徒に下宿等を用意する準備はあるのか。

→ これまでも隣接学区からの受験は可能で、今回の変更で、飛騨地区や東濃地区の生徒も受験可能になるが、それほど多くなるとは思っていない。ただ、科学の甲子園で活躍する生徒と一緒に切磋琢磨することを望んで岐阜高校を目指す生徒はいるかもしれない。ちなみに現在は一人の生徒が下宿している。

意見13 学区制を廃止するメリットは何か。

→ その影響はあまりないと推測している。ただ、方向性として選択肢の制限が取り除かれていく方法であると思う。以前は100名ほど下宿生がいた頃もある。この時代、安全安心やアレルギーなど、下宿生の世話も大変だと思う。

意見14 岐阜県内から愛知県内の私立高校へ行く生徒はいるのか。

→ 愛知県の私立高校は中高一貫教育であるところが多く、そのような学校への流出を防ぐには、小学生を対象にする必要がある。本校では夏休み（7/25,26）に中学生向けへの学校説明会を行なうが、同時に小学生向けへの説明会（7/26）も実施しており、400～500名の参加者がある。

意見15 これからの社会はAI化が進むとの予測があるが、今後は物事の判断力が問われる。判断力に長けた人材が求められる。また、OBの中には政治に関心のある先輩も少なくない。これからは、トータル・パーソンとして、政治の世界に参加していく人材も増やしてほしい。

意見16 社会では、掲示物や本などの資料は、整理整頓することが必要条件である。教室の状態を見るときもう少し厳しく指導していただきたい。

意見17 部活動が頑張っているようだが、ラグビー部はできないのか。

→ 中学などでラグビースクールに所属していて合同チームで大会に参加する生徒が何人かいる。

意見18 教室のエアコンの温度設定はどうなっているのか。教室によってはかなり暑い教室もあった気がする。そんな中、生徒は長袖のシャツを着用しているが、半袖を着て冷房温度を上げてはどうか。

→ 28℃を目処に設定しているが、教室の配置によって室温はかなり差がある。室温は職員室で管理している。生徒はエアコンの温度をコントロールできない。エアコンの吹き出し口付近にいたりかなり寒いとのこと。長袖を着ることによって調整している生徒もいるが、それよりもファッションではないかと思われる。できるだけ教室の気温には気を配って調整して快適な学習環境を提供できるようにしています。

6 会議のまとめ

校長：本日は多岐に渡って、貴重なご意見をいただき感謝しています。職員会議で職員にも伝えたいと思います。本日いただいたご意見は、議事録としてホームページに掲載しますので、ご確認いただければと思います。本日はありがとうございました。

7 諸連絡

第2回の学校評議委員会は、学校評価アンケート結果を踏まえてご意見をいただく予定です。時期は2月の中旬から下旬を予定しています。なお、学校祭が8月30,31日、体育祭は9月1日です。お時間がありましたらご参加いただきますようお願いいたします。